

# ミライマバリDXプラン

—今治市デジタル未来戦略—



## 基本戦略



2023年3月

今治市

# ミライマバリとは



今治市のデジタル<sup>\*1</sup>未来戦略のキャッチフレーズは『ミライマバリ』です。

これは**ミライ mirai** + **imabariイマバリ**の造語です。  
DXは目的ではなくあくまで手段であり、考えるべきは今治の未来です。

その未来に向けて考えていく姿勢を、シンプルに分かりやすい言葉で表現しました。

「**i=市民**」を“今治“の”未来“を描く際の真ん中に据えて、取組み姿勢とアクションを体現していきます。

市役所内の部署間で連携することはもとより、市民や市内事業者の皆さんと連携することで、日本のどこにもない、**あたたかみのあるDX<sup>\*2</sup>**を今治市で実現していきます。

<sup>\*</sup>のついた用語は、（別添2）デジタル関連用語集で解説しています。

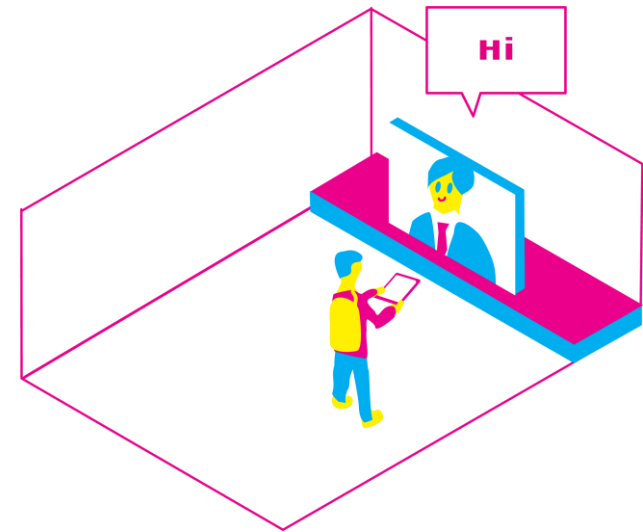
# 全体構成

本戦略の正式名称は「**今治市デジタル未来戦略**」で、愛称を「ミライマバリDXプラン」といいます。

今治市デジタル未来戦略は、趣旨及び目的、基本理念、基本方針等の全体像を定める「**基本戦略**」と、基本戦略に基づき、各分野のビジョン\*3実現に向けた具体的な取り組み方針を定める「**実施戦略**」により構成されます。

また、具体的な事業の実装状況を年度ごとに把握する「**進捗管理表**」と、「**デジタル関連用語集**」が別添資料として附属します。

なお、本戦略には必ずしも具体的な予算や計画を伴う事業を記載しているものではありません。



## 今治市デジタル未来戦略

1 基本戦略

2 実施戦略

3 (別添1) 進捗管理表

4 (別添2) デジタル関連用語集

# 1. 趣旨及び目的

人口減少・少子高齢化による労働力減少が現実となりつつある中、行政においては住民サービスの水準を維持するため、デジタル化への対応が重要な課題となっています。

また、2020年以降の新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、市民生活や都市機能においても、新しい生活様式に応じたICT<sup>\*4</sup>・デジタル技術の活用、DXの推進が急務となりました。

当市においても、市民生活の質を高め、市民満足度の向上を図るため、行政分野における「スマート自治体<sup>\*5</sup>への転換」と、市民生活、まちづくりなどの各分野における地域課題の解決に向けた「地域社会のDX推進」に一体的に取り組み、「スマートシティ<sup>\*6</sup>の実現」を目指して、今治市のデジタル化・DXの指針となる戦略を策定するものです。

策定にあたっては、市民アンケート等により今治市の課題やニーズを分析すると同時に、市職員によるプロジェクトチームの意見を反映させた当事者参画型のデジタル未来戦略を目指します。

本戦略は、官民データ活用推進基本法（平成28年12月）第9条第3項に規定する市町村官民データ活用推進計画としても位置付けます。

また、本戦略の策定にあたっては、国・県及び今治市の策定する、下記の各種計画等との整合性を図ります。

- [デジタル社会の実現に向けた重点計画](#)（デジタル庁）
- [自治体デジタル・トランスフォーメーション（DX）推進計画](#)（総務省）
- [愛媛県デジタル総合戦略](#)（愛媛県）
- [今治市総合計画及び後期基本計画](#)
- [今治市行政改革ビジョン](#)
- [今治市まち・ひと・しごと総合戦略](#)

## 2. 策定方針

当事者参画型のデジタル未来戦略を策定するにあたり、当事者である市民の意見を活かし、今治ならではの課題を今治らしいDXで解決するために、まずは市民アンケートや事業者インタビューなどを実施し、あわせて過去の調査などの結果を再分析して、課題の把握に努めました。

### 事業者インタビュー

- 令和3年9月～11月実施
- 市内民間事業者、金融機関、教育機関等の12団体へデジタル化についてのインタビューを実施

### 市民アンケート

- 令和3年11月～12月実施
- デジタル化に関する市民アンケートを16歳以上の市民を対象に、郵送2,000件+インターネットで実施
- 回答数926件（郵送477件、インターネット経由449件）

### その他過去の調査など

- 第2次今治市総合計画後期基本計画策定に係る市民アンケート  
実施時期：令和元年7月24日～8月19日
- 第2次今治市総合計画後期基本計画策定に係る高校生アンケート  
実施時期：令和元年7月1日～7月19日
- 今治市職員意識調査  
実施時期：令和2年7月8日～7月27日
- 民間企業による調査

### デジタル未来推進プロジェクトチーム（今治市職員）

- 「市民生活」「まちづくり」「行政」の3つの分科会に分かれて、10年後の未来を見据えたデジタル技術の活用方法について検討
- インタビュー及びアンケートの結果をインプットした上で、今治市が取り組むデジタル化・DXの基本理念、取組方針、目指すべき姿を検討

アンケート調査及び各種の調査の分析結果から、次のような今治市の課題が浮かび上がりました。

## ① ソーシャルキャピタル<sup>\*7</sup> = 「社会関係資本」の形成

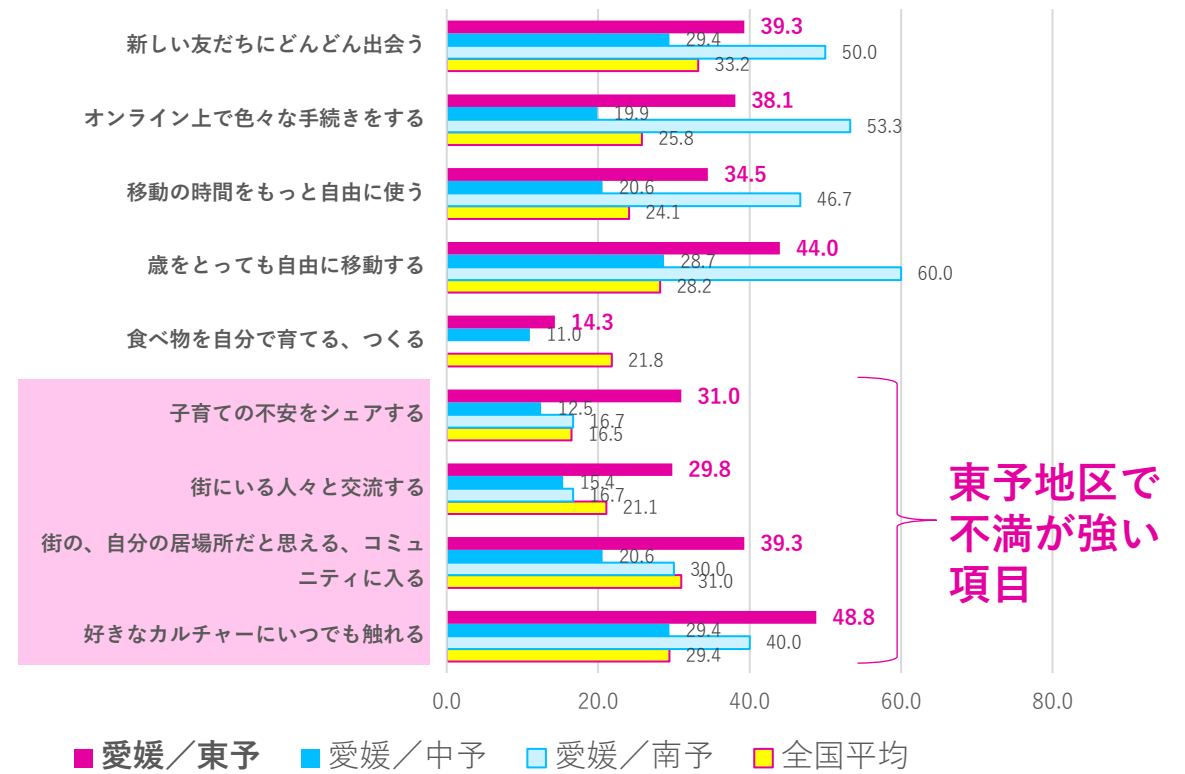
東予地区全体の傾向として、地域社会の中で居場所がないことに対する不満がみられます。こうした不満は、全国平均だけでなく、同じ県内の南予地区と比較しても高くなっています。

その他の調査でも、市内の人材に交流や連携のなさが指摘されました。

こうした「**つながり**」、**人的ネットワークの持つ資本**、すなわち**ソーシャルキャピタルの形成**が今治市の固有課題と考えられます。

## Q.居住する市町村に不満がありますか？

居住する市区町村への不満（％）



民間企業調査

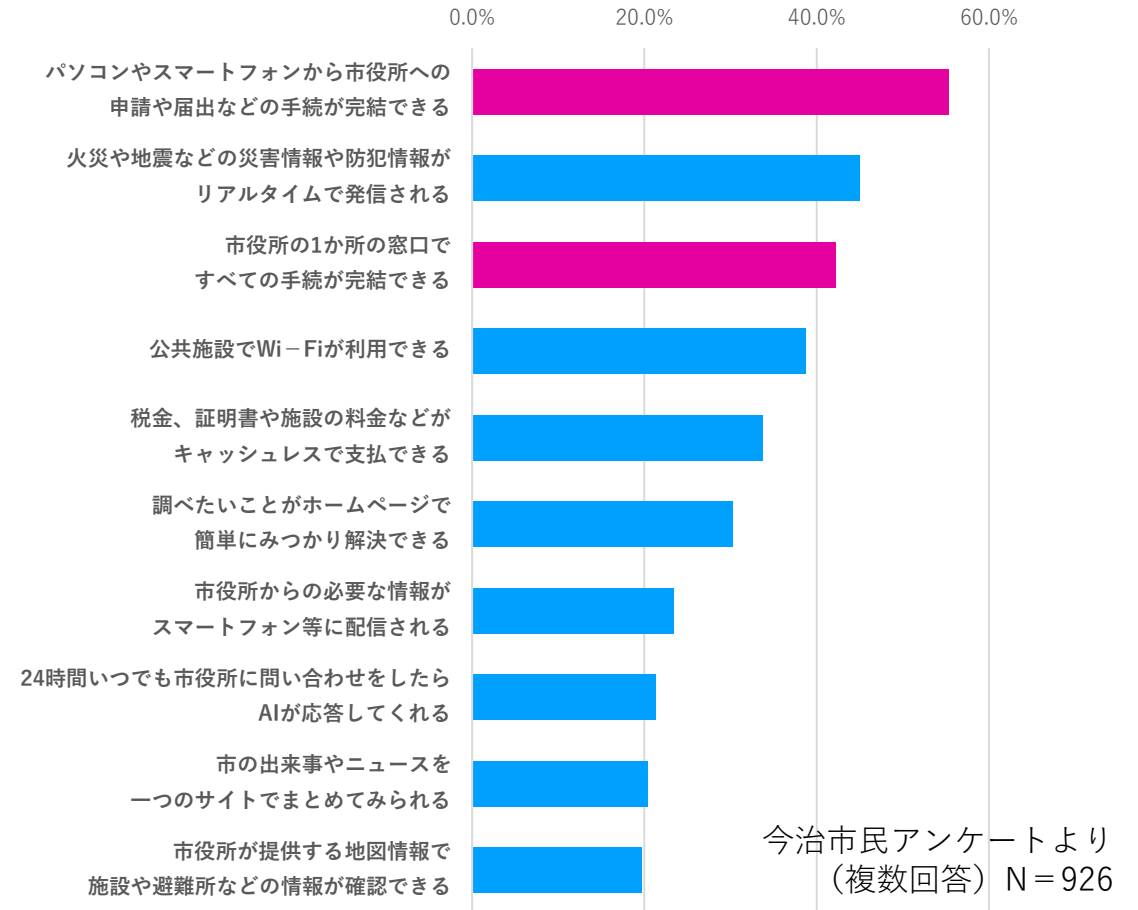
## ②行政事務プロセス\*8自体の 整流化・部署間連携

自宅からオンラインで手続きを完結させたいというニーズは非常に強く、早期に実現すべき課題です。

一つの窓口で同時に手続きを完結させたいというニーズもあります。

これを実現するためには、単にICTの導入を進めるのではなく、**行政事務プロセス自体の整流化**と、その実現に向けた**部署間の連携**が求められます。

## Q.今治市役所に実現してほしい 行政サービスは？



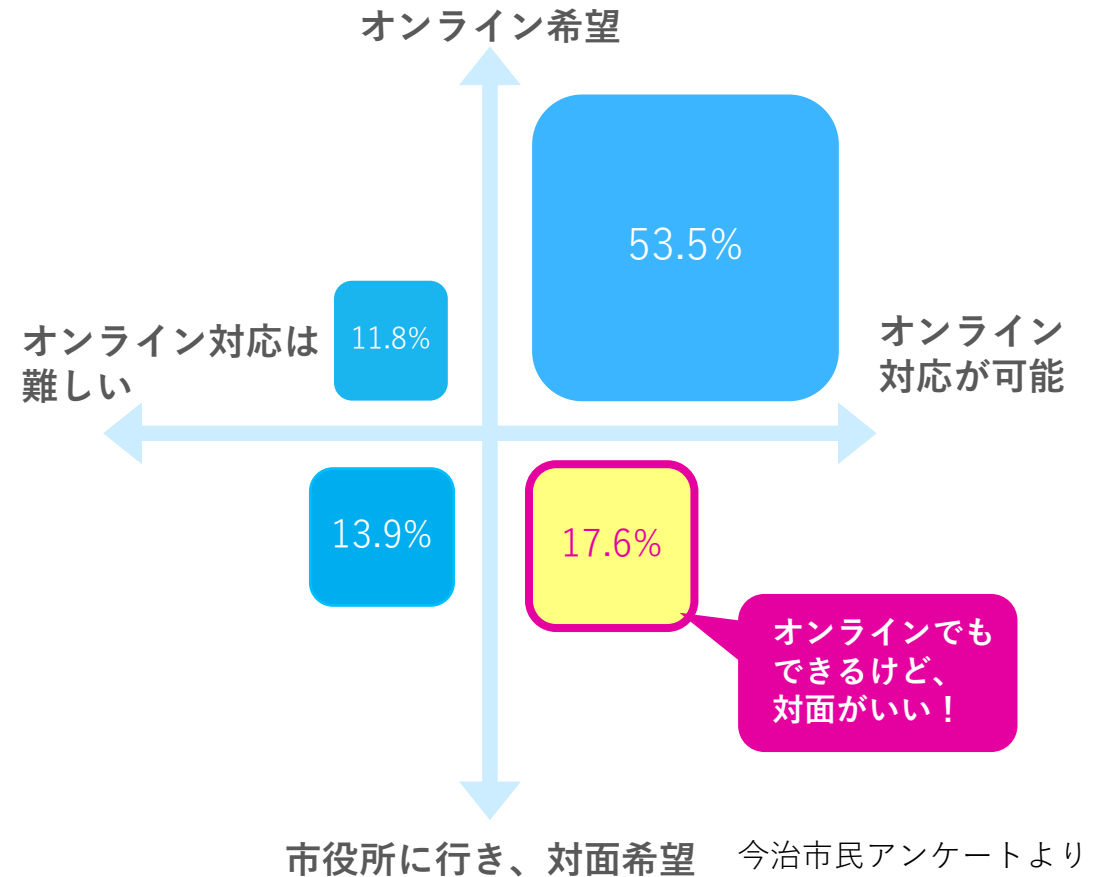
### ③利便性 + 人と人の関係性強化 あたたかみを持ったDXの推進

パソコン・スマートフォンでさまざまなサービスを利用したいという希望が強い一方で、調査に対しては「オンライン対応が可能である」と答えたITリテラシー\*9の高い方の中にも、窓口での対応を求める声が一定数あります。

つまり、重要な相談にはデジタルであれアナログ\*10であれ、**親しみや関係性**を求められています。

利便性は実現させながらも、**あたたかみのあるDXの推進**が望まれます。

Q.パソコン・スマートフォンでさまざまな行政サービスを利用したいですか？



今治市民アンケートより  
(複数回答) N = 703



### 3. 分析結果を踏まえた基本理念

#### 1. 今治市のこれからの必要なことは、ソーシャルキャピタルの形成

関係者のネットワークを構築し、当事者間の理解を深めることを通じて、  
未来の今治市をみんなで創っていきます。

#### 2. 「同時代の空気、としてのデジタル化」を活かす

デジタルはあくまでツール<sup>\*11</sup>でありきっかけです。

デジタルをきっかけに、かつて動かなかったものも一気に動かす時代が到来しています。

#### 3. DX推進を市民連携のきっかけにする

今治市の未来を当事者同士でオープンに話し合える場をつくれます。

そこでの話し合いの結果を、施策に反映していきます。

## 基本方針に基づく取組方法

基本理念を実現するために、3つの方法を採用します。  
当事者である市民や企業が、自分自身を知り、相手を知り、地域を知ることから始めます。

### ① 「コンソーシアム<sup>\*12</sup>型形式」

- 新しく参画したい企業・組織と共に、「仲間づくり」ができる活動を行います。
- 新しい今治市を考えるためのコミュニティ<sup>\*13</sup>をデザインします。

市内の事業所や団体など中心としたコンソーシアム（共同体）を設置し、意見交換や勉強会などを通じて、今治市のデジタル推進について、みんなで考える機会を設けます。

### ② 「アジャイル型<sup>\*14</sup>・拠点に依らない活動」

- 計画を立ててその通りに履行していくのではなく、勉強会・プロトタイプ<sup>\*15</sup>を重ねながら改良していきます。
- 特定の施設を拠り所とせず、「ハコ」ではなく「活動」を実態とします。

デジタル技術をとりにくく状況は常に変化しているため、短時間で柔軟に対応できるよう、試行錯誤を許容します。  
また、新たに施設や場所を作るのではなく、今ある施設や枠組みを積極的に活用し、活動の中身を実態とします。

### ③ 「活動過程の広報」 （プロセスブランディング）

- 経過を見せることで、仲間づくりのスピードを速めます。

広報やホームページ、SNS<sup>\*16</sup>を通じて市民に活動をお知らせします。難解でわかりにくいデジタルだからこそ、「見える化」することで理解と共感の輪を広げ、DXをみんなのものにすることに努めます。

## 4. 基本方針

今治市デジタル未来戦略の基本方針は下記のとおりです。

**<コンセプト>**  
人に寄り添う日本一アナログなDX

デジタル・アナログにこだわるのではなく、住民対応のクオリティ\*17を上げ、人と人とのつながりをより大切にするための手段としてDXを活用します。

行政のDX

**<実行方針>**  
「市民が真ん中」になる活動  
時間を生み出す「しない」DX

「市民が真ん中」の視点で市民や企業の主体的な参加を求めます。やめるべきことをやめ、やるべきことを高度化します。

市民生活のDX

**<実行成果>**  
誰もが住み続けたい「心地良さ」「便利さ」  
間接指標＝シビックプライド\*18を示す居住・居住推奨意向の向上

市役所から先端的なDX行政を取り入れ、この発想があったかという、みんなに見せたいDXまちづくりのミュージアムを目指します。

まちづくりのDX

デジタル未来戦略に掲げる「市民生活」「まちづくり」「行政」三つの分野で連携しながら今治市のDX推進に取り組むため、**デジタル戦略会議**を設置します。  
市民、市内の既存企業やスタートアップ\*19を中心に構成する予定の各コンソーシアム、今治市役所内に設置する各種のプロジェクトチームなどで構成します。

## 今治市デジタル戦略会議

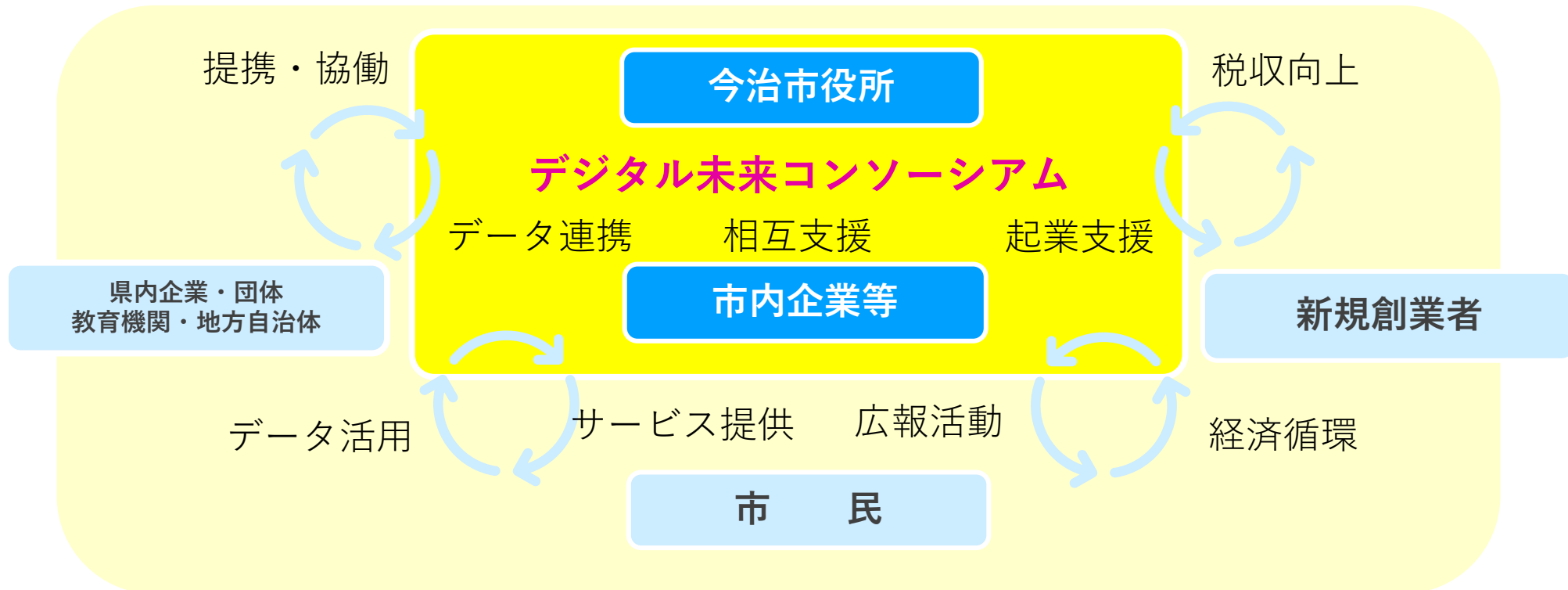


\*18 スタートアップ

## デジタル未来コンソーシアム

10ページの取組方法に基づき、**今治市**と**市内企業等**を核として、**コンソーシアム**（共同体）を形成します。このコンソーシアムは、前頁の「デジタル戦略会議」において「まちづくり」の分野に位置づけられます。地域に開かれた「仲間づくり」の場として、今治市のデジタル化の推進のための官民連携基盤を作るとともに、デジタルをきっかけとした**ソーシャルキャピタル**を形成します。また、「行政」「市民生活」の分野と連携しながら、コンソーシアムを通じて、地域全体のデジタル力の底上げを図ります。

### コンソーシアムを核とした今治市デジタル未来戦略の推進（イメージ）



## 具体的な取組分野

デジタル化に取り組む具体的な分野と、それぞれの目指す未来を次のとおり定めます。

大分野	中分野	方針	分野番号	
市民生活のDX	デジタルで「ひとりひとり」が輝く今治をみんなで創出	コミュニティのDX	ICTを活用した新しくも懐かしいコミュニティづくり	1-1
		健康・医療・介護のDX	デジタルが支える健康といつまでも自分らしい暮らし	1-2
		子育てのDX	子どもを守り育むICTニューボラによる切れ目のない支援	1-3
		モビリティのDX	どこへでも「行ける」「届く」暮らしを中心にしたモビリティサービスの充実	1-4
		教育のDX	ICTで「誰もが」「いつでも」「どこからでも」自分らしく学べる教育環境の整備	1-5
		環境・エネルギーのDX	デジタル技術で豊かな自然環境を次世代につなぐ	1-6
		文化・スポーツのDX	バーチャルでつなぐ今治と世界の文化・スポーツ	1-7
		社会参加のDX	デジタルで支え合うインクルーシブ社会の実現	1-8
		デジタルデバイド対策	誰一人取り残されないデジタル社会の実現	1-9
まちづくりDX	デジタルで市民の命を守り「商いができる」今治の実現	産業のDX	デジタルによる産業のイノベーションとDX人材の育成	2-1
		商流のDX	今治の「いいもの」を世界に広げるデジタルマーケティングとバーチャル商店街	2-2
		人流のDX	デジタルを活用したリアルなにぎわい拠点づくり	2-3
		空間距離のDX	しまなみ海道「ゼロ距離」生活の実現	2-4
		インフラのDX	デジタルを活用したスマートなインフラ投資とインフラのデータ化	2-5
		観光のDX	デジタルとリアルな相乗効果で観光力をグレードアップ	2-6
		移住のDX	心地好く「住む」リモートで「働く」日常がワーケーションな移住先進地	2-7
		農林水産業のDX	農林水産業のスマート化による安定した生産と就業者の確保	2-8
		防災・安全のDX	デジタルを活用した防災力強化と安全対策	2-9
行政DX	「市民が真ん中」の視点で超スマート自治体へ体質変革	住民サービスのDX	時間や場所にとらわれずワンストップでサービスが受けられる手のひら市役所	3-1
		情報発信のDX	クロスメディアによる情報発信とプッシュ型で最適な情報提供	3-2
		業務改革のDX	業務のデジタル化による生産性向上とスマートな行政運営	3-3
		働き方のDX	時間や場所にとられない生産性の高い新しい働き方への転換	3-4
		データ連携のDX	たとえばマイナンバーによる統合IDの実現などデータ連携プラットフォームの構築	3-5
		データ活用のDX	オープンデータの活用による官民サービスの高度化	3-6
		通信環境のDX	DXの基盤となる利用しやすい情報通信環境の整備	3-7
		DX人材の育成	スマート自治体の実現に向けたDX人材の育成	3-8
		DX推進のためのセキュリティ対策	DXによる利便性の向上とセキュリティ確保の両立	3-9

# 5. 官民データ活用の推進について

コロナ禍により、地域・組織間での横断的なデータ活用が十分に図れない等、様々な課題が浮き彫りになりました。また、急激な人口減少や少子高齢化に起因する市の活力低下等も深刻な課題となっています。

こういった諸課題を解決するため、市は「チーム愛媛」によるデジタル変革を推進する愛媛県及び県内各市町と連携・協力しながら、行政のデジタル化、データの利活用促進を図っていきます。

推進にあたっては未来デジタル課が中心となり、全庁横断的な推進体制を構築します。

また、県・市町の連携にあたっては、愛媛県・市町DX推進会議等を通じて取組みを推進します。

## (1) 官民データ活用の推進に関する施策の基本的な方針と個別施策

施策の基本的な方針として、官民データ活用推進基本法の理念や本計画との整合性、また愛媛県デジタル総合戦略等も視野にいれながら、①～③の基本方針の下、個別施策を推進します。

### ① オープンデータに係る取組み

愛媛県デジタル総合戦略とも連携しながら、県・市町一体となったデータ利活用の推進を実施します。

県と市の連携を基盤として、「チーム愛媛」でDXを推進する中で、行政データのオープン化や利活用について共有するとともに、民間も参画しながら活用方を検討することができれば、オープンデータ\*20を活用した新たな価値を創造することが期待できます。

このため、愛媛県・市町DX推進会議等の枠組みも活用しつつ、各取組みを他市町とも共有しながら推進することで、県・市町一体となったデータ利活用を推進します。

### ② 情報システムに係る規格の整備及び互換性の確保の取組み

愛媛県デジタル総合戦略とも連携し、情報システムの標準化・共同化・クラウド\*21化を推進します。

行政が運営する各種情報システムは市町ごとに導入されているものが多く、調達コスト増大の一因となっているほか、県と市町間の連携を難しくしている要因ともなっています。市民が真ん中の行政サービスを県及び他の市町と展開するとともに、そのコストを低減することも必要です。

このため、県と市町が連携して、業務プロセスの標準化に取り組んだ上で、既に導入している愛媛県電子入札システムや愛媛県情報セキュリティクラウドなどのように、より一層の情報システムの標準化・共同化・クラウド化を推進するとともに、システムの利便性やシステム間の互換性を高めるため、API\*22機能等の導入の推進に取り組みます。

### ③ 人材確保に係る取組み

愛媛県デジタル総合戦略とも連携し、高度デジタル人材のシェアリングを推進します。

DXを推進するためには、司令塔を担う優秀な人材や各分野に通じた高い専門性を有する外部人材等を確保し配置することが必要となりますが、これらの人材は全国的にも限られ、本市独自で全ての必要な配置することは、現実的には非常に困難な状況にあります。

このため、県が市町と推進する、独自に配置する外部専門人材等によるサポートを含め、基礎自治体のDXを推進できる人材を県と市町又は市町間でシェアできる仕組みに参加し、本市の自治体の人的・財政的負担を抑えながら、質の高いデジタル化の実現を目指します。

### (2) セキュリティ及び個人情報の適正な取扱いの確保

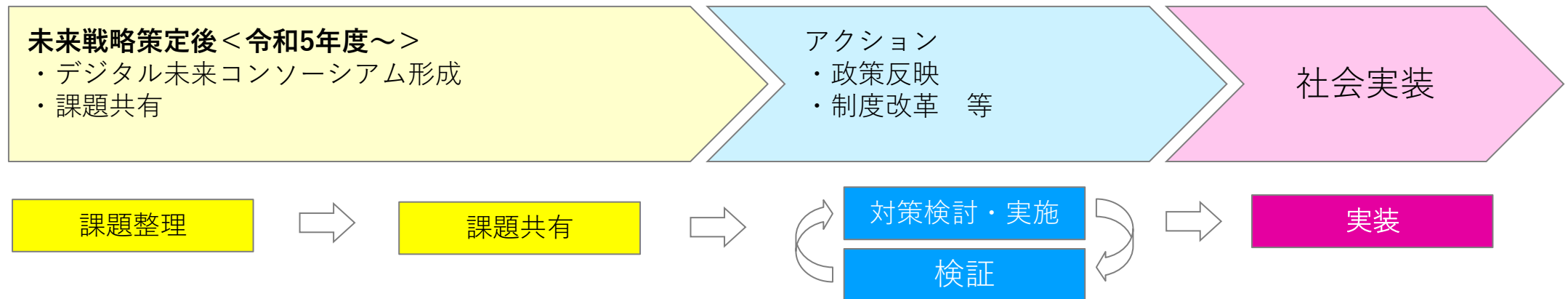
本指針の実施にあたっては、「今治市情報セキュリティポリシー」等に基づく適切な情報システムの運用体制を確保するほか、「今治市個人情報保護条例」等の市が取り扱う個人情報保護に関する定めを遵守することとし、データ活用に係る市民の不安の払拭に努めることとします。

## 6. 計画期間

本戦略の計画期間は、**令和5年度から令和9年度まで**とします。

デジタルの分野は変化が大きいため、詳細なロードマップを定めるのではなく、大まかな方向性と目標を決めて、新しい技術や時代の流れに柔軟に対応します。

各分野における個別の取組に関しては、「**実施戦略**」の別表において毎年度進捗管理を行います。





## 今治市デジタル未来戦略 **基本戦略**

今治市役所 総合政策部 未来デジタル課

〒794-0081

愛媛県今治市別宮町1丁目4番地1

電話 0898-36-1509（直通）

e-mail [mirai@imabari-city.jp](mailto:mirai@imabari-city.jp)



- 1 今治市デジタル未来戦略 **基本戦略**
- 2 今治市デジタル未来戦略 実施戦略
- 3 （別添1）進捗管理表（各年度）
- 4 （別添2）デジタル関連用語集